

店空間に紡ぐ世界観

「おかじの店」 川上未映子



洋服の世界観を紡ぐ。それが川上未映子の「おかじの店」だ。洋服の世界観を紡ぐ。それが川上未映子の「おかじの店」だ。洋服の世界観を紡ぐ。それが川上未映子の「おかじの店」だ。

洋服の世界観を紡ぐ。それが川上未映子の「おかじの店」だ。

洋服の世界観を紡ぐ。それが川上未映子の「おかじの店」だ。

洋服の世界観を紡ぐ。それが川上未映子の「おかじの店」だ。

「新米」3人、ネット上に秋冬新作

役割について改めて考えた」という。

新人デザイナーの登竜門「シンマイ・クリエーター・プロジェクト」に昨年選ばれた3人が、東日本大震災の直後、2011年秋冬の新作を発表した。ショーアウトは中止されたが、日本ファッショントーク推進機構のホームページ(<http://www.ifw.jp/jp/the12th/collection/>)で写真を発表している。

「ヤストシ・エスキ」の江角恭俊(29)は長方形の布を交互に縫い込んだ機械的柄のドレスなど、一部を拡大すると金体の形に似たデザインの試みだ。「被災地は温かさなど服の機能が第一になると気づき、デザイナーの作品

ベルギー・アントワープで活動する「ファン・ボンゴー」の本郷大慶(35)は、「サロンを主宰する女性」をイメージ。「自分の作品が、つづつとしがちな気分を上向けてきたのが、何より嬉しい」と笑顔で語る。

「フェルナンダ・ヤマモト」のフ

エルナンダ・ヤマニスキ・ヤマモト

(ヤストシ・エスキ)の江角恭俊

何物的柄のドレスなど、一部を拡大すると金体の形に似た服の試みだ。

「被災地は温かさなど服の機能が第一になると気づき、デザイナーの

第一回に聞く

第一回